常磐毎日新聞

日刊

四月二日　夕刊

定價　一部金貳錢　一ヶ月金五拾錢　郵稅五厘
廣告料　普通一行五拾錢、場所指定一行七拾錢
日曜祝祭日の翌日休刊
發行兼編輯人印刷人　坂本忠治
福島縣平町長橋町三五
發行所　常磐毎日新聞社　電話　六三〇番
印刷所　常磐毎日印刷株式會社　（振替口座）東京　四〇二二〇番

天氣豫報

今晩は北の風
明日は北の風

小名濱新港に
けふ寶の入船
日曹建築の材料を滿載した大興丸！
滿艦色の埠頭に大歡迎
君島知事も前途を祝福

小名濱商港の完成に先立ち日本水素工場建築材料を積むだ大興丸が本二日午前六時朝日に照り映ふ波を蹴つて處女入港し堂々と三千噸の巨體を埠頭に横付けした町當局が怠らず準備した滿艦飾の歡迎場は小名濱港埠頭に設けられ午後二時より船員一同を招待して淸楚なる祝宴を張る一方小野町長より縣知事の臨席を乞ふた爲め本縣知事は午後一時半着にて臨席大いに祝福した

大興丸を迎ふ！

小名濱支局長　小野務平

去月廿五日處女入港を傳へた小名濱町所在日本水素工業建築用材を滿載した大興丸は大阪を拔錨したとの報に依つて其來港の日を一日千秋の思ひで待つたのであつたが、二十五日は二十九日と變更、更に四月二日と云ふ日取りを傳いて來た、三月末限り小名濱修築事業は愈々完成の幕を閉ずる譯けで果して完成が事實であるか將た又未だ未完成の點があるではないかとは地方民の均しく遲疑を拂ひつゝあつた處であつた

然るに四月二日拂曉町當局が前日よりの無電に依つて入港が間違ひないとした、其歡迎振りは至れり盡せりで埠頭入口には大興丸歡迎と書いた額を掲げた大緑門を建て天幕張りの受附數十個掛椅子、更に大興丸の雄姿が海上に現はれたるを合圖に煙火を打揚ぐる等の點まで整頓してあるのだから愈々巨大なる船體が海上遙かに見いたとあつては堪へ難い歡喜の絶頂に達し數發の煙火を打ち揚げて其入港を迎へた

水先案內役の築港事務所え屬船が遠く之を迎へて靜々と小名濱港目がけて入港し町當局初め築港所長外萬餘に達する町民は大興丸が埠頭東側に聊かの動搖だも見せないでスル〳〵と辷り込むだ其雄姿は据然たる一城廓のそれの如く同民不期で小名濱築港大完成を連呼せしむる歷史的情景は三十年來臥薪嘗膽の苦惱を味つた地元町民ならでは知り得ない所であらう

殊に小野町長初め町議有志家や築港事務所々長福來氏等の衆目が果して築港完成せしやの多少猜疑を懷きつゝある中に三千噸級の大商船が小山の如き巨體を目前に展開した、情景に接しては疑雲は忽ち晴れ明朗の氣が和となり曉漢たる廿萬の海岸を壓するの觀を呈した

斯くて築港事業が人智の上に斯くまでも進むだ工作によつて完成されたかと思ふと將來の港灣利用の方法に就て如何に急速な計畫を立てねばならぬかを痛切に考へさせられたのであるが、何を云ふても處女入港の大興丸を迎へた小名濱町民は築港完成の前奏曲として大白を擧げ祝福するの當然である事を述べ歡迎の辭に換いたいと思ふ

長期抗戰に對應
特別税の新物價
昨一日平稅務署が
一齊に在庫品調べ

長期戰に對處して發令を見た支那事變特別稅は四月一日から實施され、その品目三百餘點に及んでゐるので平稅務署では一日を期して在庫品の**調査を**行つたが本特別稅は興行界娛樂方面にまで及んでゐるので三十一日管內興業者を同署樓上に招致趣旨の說明を行つた興業（映畫、芝居浪花節その他の觀物）は入場料二十三錢以上はその**一割を**徵取される（錢未滿は切捨）ことになり娛樂場の徵稅方法はその機關を利用する者がその一割を徵取されることになつた尙今回の事變稅は日用品の大部分に賦課されてはゐるが賦課**方法は**或金額以上に限定して賦課されて居り、結局は普通品の使用者には關係なく贅澤品の使用者に賦課されると云ふ狀態にあり當局の苦心の跡が偲はれる

御親閲の記念式
明三日平第一校講堂に

去る九年四月三日全國小學校敎員代表に對し御親閲を賜はつてから丁度今年が五ケ年目に當るので平市及び郡下小學校は明三日午前十時から平第一校講堂に敎員會を開きこれが記念式を擧行することゝなつたが當日の式典順序は左の如くである

敬禮、開式の辭、國家合唱、宮城遙拜、小學校敎員に賜りたる勅語奉讀、宣言文朗讀、文務大臣訓辭、長官告辭、祝辭、敎育の歌合唱、愛國行進歌合唱、萬歳三唱、閉式の辭、敬禮

級長の選擧

平市

內の各小學校は今二日一齊に第一學期の級長選擧を行つた任命式は四日擧行される

三笠宮殿下
騎兵演習御參加の御途次
勿來關御視察

陸軍騎兵學校の演習は來る七、八の兩日平市及び郡山市附近で行はれるが同演習に御參加遊ばされる三笠宮殿下には演習終了後勿來關に御立寄あらせられる御豫定に就き君島知事、安井官房主事の一行は今二日午後零時四十五分着で來平各方面と御警衛その他の打合せをした

勇士を慰問

湯本町愛國婦人會では白衣の勇士を犒ふことゝなり慰問袋三百個をこしらへ一日會長石川秀子、副會長樋口リウ兩氏外班長數名が訪問銃後婦人の心意氣を勇士達へ傳へた

和田書記退職

福島地方裁判所檢事局監督書記を退職した和田傳古氏は鄉里小名濱に永住することゝなつた

角田訓導出發

小名濱小學校角田春彥訓導は南洋廳へ轉出することになり來る十二日出發する

土木委員會

平市

土木委員會は五日午後一時から開き

公園內臨時賣店敷地使用者抽籤の件
公園敷地使用願に關する件
市道路占用願に關する件

酒造稅完納
前年より增額

平稅務署管內の昭和十二酒造年度の造石稅は六十萬五千六百二十四圓七十六錢で前年の五十九萬三百九十八圓に比べ五萬五千圓の增加を見せ、之が最終納期は三月末日限りで、成績は三月末日納期の第四期分十五萬一千八百三十二円一錢で全額納入濟で一錢の滯納もないと言ふ好成績であつた

春の戲れ

子供を捨てゝ
人妻が從兄と
邪戀の逃避行
懸賞金付で平署へ搜索願

夫を捨て、子を捨て、從兄と共に駈け落ち！これも春の戲れか——東京市杉並區西荻窪三ノ一三六川村富子(二八)さんは去る二十四日頃、從兄に當る品川區大井鎧町三五五六小川芳造さん方レース職工小條良雄(二九)と共に約百圓をもつて家出してしまつたので父親啓三郎さんから今二日平署に搜索方の願ひ出があつた

富子は秋男と言ふ夫と子供がありながら從兄の前記良雄と不倫の戀に落ちたために家庭に風波が絶えずいつそ知らぬ他國で暮そうと愛の逃避行となつたもので平附近の喫茶店かまたは旅館にでも夫婦氣取りでゐるらしく男には前科があり心中の虞れもあるので見付けて知らせて呉れた方には金百圓の懸賞がついてゐる

青少年義勇軍の採用試驗を執行
濱通りは八日平第一校

縣下の滿蒙開拓青少年義勇軍本隊員採用試驗は來る六日から九日迄各所に施行されるが濱通りは八日平第一校に行はれる

戰陣中より一筆啓上

命令一下
勇躍進出
▽…敵に近つけば
▽…元氣は百倍と
大竹庫君の通信

前いはらき平支局長大竹庫氏は目下南支〇〇の第一線に出動殘敵掃蕩につとめてゐるがこの程本社宛左の書信を送つて來た

——鎮定通り十九日出發〇〇地に到着しました、黄浦左岸南停車場より約四時間を要する汽車の進軍は勇ましいものでした途中山は殆んどなく田圃續きよくもこんなに耕地があると驚く位既に平和が戻り田圃に働く百姓の姿も何となくのんびりしてゐました、當地は上海よりも暖で梅も桃も櫻も仲よく一緒に咲き誇り戰爭をケロリと忘れてゐるやうな風景のところです たゞもう蚊が飛び廻つてゐるにはビックリしました、水は何處にもありますが飲む水のないのには閉口、上陸して間もなく〇〇〇に着いた時の樣にクリークの水でたべ物をつくつてゐます、滿四ケ月目で又本當の野戰氣分を味ふ事が出來たわけです、戰地は平凡な生活では內地の人達や戰死した人々に何となく申譯ない樣な氣がするのでどうしても先へ先へと出たくなります、敵に近づくにつれ元氣は百倍千倍と增します、出征して足掛け半年いよ〳〵今度こそは敵を鐵砲の目標劍の錆とする事が出來るのかと思ふと嬉しく心境は鏡の如く澄んで來ます、敵兵各所に潛伏の報が傳はつて空氣は一層緊迫して居ります、命令一下勇躍出動です、何れ生きの良い實驗談をおしらせ致します

櫻花の廿日頃
平市で市長會

福島、平、郡山、若松四市長會は二十日櫻花爛熳の平市に開かれることゝなり平市では〃櫻の平〃を縣下に知らしめる絶好の機會と今から觀迎陣に大童である

平窪信組映畫會

平窪信用組合では三日午後七時から第四小學校講堂に思想善導並に產業組合普及宣傳映畫會を開く

支柱建直し中に
落盤！二名が負傷

好間村大字北好間字籠日曽小田炭礦採炭夫仙太郎妻同礦後山夫渡邉ウタツ(三五)と先山夫猪狩常雄(四〇)は一日午前六時半頃坑內に入り坑口から四十間のところに支柱が倒れてゐるのでこれを建て直そうとした刹那、厚さ一尺、一間四方に亘る落盤ありウタツはその下敷となり肋骨々折三本その他に裂傷を負ひ生命危篤、常雄は輕傷であつた

祝日、日曜、節句
三重奏の明日
公園の櫻は微笑んでる

春四月の聲に早くも櫻花は微笑み蕾はポッチリとピンクの花ビラをのぞかせて麗らかな風は野に街に躍つてゐる、明三日は神武天皇祭第一日曜、舊曆桃の節句と三重奏でそれに大安と全く祝福された日で人生の春結婚式もさぞ多からうと言ふもので暖い風に羽織をぬいて公園に杖を引く人々で公園はさぞ賑ふことであらう、本年の櫻は南風になごんで例年より一週間乃至は十日早く、第二日曜の十日頃には一分咲きまたは三分咲き位になるものと一般に觀測され、公園の舞臺も明日あたりからかけられ、久しく待ちあぐんでゐた櫻の春はもうすぐ眞近にしのび寄つてゐる

市內各校の
新學年プラン
けふ第一校で協議決定

市內各小學校はいよ〳〵今二日から新學年の授業を本格的に開始午後一時からは第一校會議室に四小學校事務打合せ會を開いたが決定された今年度の主なるプランは左の如くである

△四月—一學期級長任命郡市聯合、小學校敎員記念式、少年赤十字團入團式、結核豫防デー
△五月—乳幼兒愛護デー、定期種痘施行、校外取締協議會、海軍記念日郡市兒童繼走大會
△六月—家庭訪問、縣下小學校長會、ムシ齒豫防デー、郡市敎員庭球大會、時の記念日、縣敎育會總會、修學旅行體操講習會、父兄懇話會
△七月—女敎員敎育視察郡市聯合兒童陸上競技會、學力考査、珠算競技會
△八月—敎員夏期講習會ラヂオ體操會、臨海學校、體操講習會
△九月—二學期級長任命郡市聯合陸上選手權大會、物故職員慰靈祭
△十月—秋期陸上運動會郡下兒童籠球大會、視力保存デー、敎育勅語渙發記念日
△十一月—東部聯合敎育會代議員會、同總會、國民精神作興詔書記念日、國語科協議會、郡市小學校兒童唱歌會、縣下兒童籠球大會、靑年學校査閲
△十二月—敎員籠球大會市立小學校長會、兒童劍道大會、學力考査
△一月—三學期級長任命平敎育會總會、耐寒行軍
△二月—寒稽古、學藝會
△三月—敎務主任會、學力考査、陸軍記念日

平市人事

回出生

△鍛冶町二七吉田常太郎氏三女幸子さん
△禰宜町一二鈴木榮太郎氏二男元彥
△四ツ波字三反田九八（植田町大字植田本町五八）松崎平三郎氏二女正子

回婚姻

△二丁目二一大谷キヨさん(三七)と小名濱町字上町六江尻善助さん(四七)

回死亡

△長橋町川〇（東京市荒川區三河町五ノ三五六所在）齋藤幸之助(三八)氏

JOHK

今晩の部

▼後六、〇〇　お話「科學の日本」…醫學…大阪科學劇研究會
▼後八、〇〇　落語「寢床」桂文樂
▼後八、三〇　童謠組曲「一年生行進曲」尾上まさ子外
▼後八、五〇　家庭コント「子供の夢」近松里子外
▼後九、三〇　時報　ニュース　明日の話題　氣象通報　番組豫告

明日の部

▼後六、〇〇　童話劇「金鷄のいさを」アタゴ童話劇團
▼後七、三〇　吹奏樂「夕の祈り」外陸軍戶山學校軍樂隊
▼後八、〇〇　箏曲「國の基」外今井慶松外
▼後八、二五　ラヂオ風景「愛國行進曲」宮城道雄

見習徒弟募集

一、見習徒弟　二十名
一、女工　十名

年齡十五、六歲の方至急申込み下さい。
見習、男工初給四十錢、女工初給三十錢

平市十五丁目
平特產木工品一式製作
佐藤木工所
電話　二五三番
振替東京五七一七六番

銃後の皆樣喜んで御使用になる
糸イラズ

綿布、綿糸、暴騰の折柄古き破れた足袋、靴下、メリヤス、ジヤケツ其他何品に依らず活かして御使用出來ますから一家の經濟は勿論ひいては國家の經濟は莫大のものとなりませう
男子の方や御子樣方でも容易に修繕が出來ます糸や針がなくても立派に仕上りますから此の非常時の場合是非一家に一個御揃へ御使用下さい

定價　20錢　30錢

平市古鍛冶町一〇
阿康藥局
電話　四四番
振替東京三〇〇六五番

靴！靴！

祝御入學、御進級には
是非！定評ある履心地のよい
キクチの靴を!!!
おすゝめ致します。

早くも中、小、女學生用靴の特賣開始致しました、何卒御來店下さい。

平驛前通り
菊地クツカバン店

御會葬御禮

昭和十三年四月二日
平市長橋町三
小野國次郎
親戚一同

白柄組風速
大島多慶夫作
井川洗涯畫
[illegible]
[illegible]

……（三〇五）……

信綱の秘鍵〔二〕

御月代の近侍が靜かに兩手をつた。

『おゝ靜馬か、その方、只今別に用事はないか』

『はい』

『では……大急ぎ石谷氏の許まで使ひに參つて呉れ』

『かしこまりまして御座ります』

『只俺が火急に御目にかゝりたいと申して參れば好いのぢや』

『はい』

と、近侍の靜馬は淑かに立去つた。

信綱はその後姿を見送つた。が、その鋭い頭には靜馬の兄の主馬の事が浮んで來た。

『有爲の若侍を危地へ遣はしたのぢや、何と俺は慘酷なことをしたらう。だが……それも將上樣の御政治の爲めに尊い犧牲と思つて……あゝ政治は厭だ。しかし、今、俺が柳營政治から手を引いたらば誰が俺に代つて天下を切盛して行くか』

そんな事を考へるとき、稍熱氣のさしかゝつてゐる政治が、又猛然と頭を擡げて來るのであつた。

今世の中は一寸靜かに見えてゐる。が、然う言ふ時が種々の秘密策動が方々に行はれてゐる時である。最も危險な時で柳營政治に一身を捧げてゐる伊豆守信綱の血は躍然して來て、何者をも尊い犧牲にしなければ措か無い樣に思はれるのであつた。

『いつの時代にも政治の生贄にはあるものだ』

と、信綱は獨言に呟いた。

間もなく又近侍の靜馬は、額にうつすらと汗をかいて歸つて來た

『はい、只今戻つて參りまして御座ります』

『御苦勞ぢや、石谷氏は直に參られるか』

『はい』

『好し』

靜馬は立去らうとしたが、何か主人信綱に聞きたい事でもあるやうに躊躇つてゐるのであつた。

信綱には直にそれが兄の主馬の消息に付いて、何事か自分に訊ねて見たいのであらうと思つた。

主馬を紀州に隱密に遣はす時には、その母親にも、弟にも絶對に打明けてはならぬと戒めて遣はした。だから、母親も、弟の靜馬も主人信綱の云附けに依つて何處へか御用向きで出發した事だけは承知してゐても、それが何處へ行つたものか。又如何な用向きで行つたものか、左張り判らずに唯心の裡で思ひ惱つてゐるに過ぎないのであつた。

『別に用はない、下つても好い』

と、信綱は氣の毒に思ひ乍らも、わざと先手を打つた。

『はい、はい』

靜馬は仕方なしに淑かに立去つて行く。

外の方にカツ〳〵と鋭く跫の音が聞えてゐたが、間も無く又他の近侍が急いで來て兩手をついた。

『南町奉行の石谷樣が御出に御座ります』

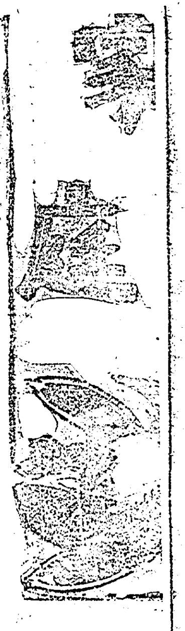
『さうか、直此處へ』

近侍が去ると、今度は又靜馬が石谷丹波守を案內して來た。

此の柳營政治を執つてゐる二つの明星は、互に沈默してヂロ〳〵と顏を見合つてゐる。小姓が代る代る菓子と茶を運んで來て置いてゆく。

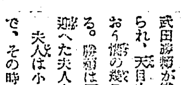
『どういふ御用で御座りましたら』

と、先づ待くたびれたやうに丹波守の方から口を開いた。



ー主婦メモー

▲安全剃刀の刃のサビを防ぐ法 安全カミソリの刃をさびないやうにするには、バットの銀紙と刃についてゐる油紙とを糊でぴつたり張りつけ、それにつゝんでおくとよろしい



勝頼の妻

神近市子

甲府に講演に行つた序でに、勝沼の葡萄郷に降り、葡萄郷から更に柏尾山大善寺の國寶薬師堂を見に行つた。寺は武田勝頼が織田の軍勢に城を逐はれ、天目山麓で自刄するまでの幾日かを送つた寺である。勝頼は三十七歳、二度目に迎へた夫人をともなつてゐた。夫人は小田原の北條氏政の妹で、その時十九歳であつた。勝頼をはじめ家來の人々も、また若い夫人を一緒に殺すにしのびないで、小田原に送り返さうとしてつとめた。けれど、夫人は夫の側を離れようとはしなかつた。

夫人の愛に引かれて一ぱしの武將であつたらしい勝頼の心もうごいた。勝頼は今川方の領主たちの援助を求めて難を脱出しようと考へ始めた。これを阻止したのは、忠臣土屋某であつた。

城を出た時、九十何人從つてゐた家臣も、主人の落目に一夜の中に卅何人に減つてゐた。頼らうとした岩殿山の小山田某も寝返つた。士民は處々にほう起して隙あらば領主の首をかいて織田方の恩賞にあづからうとするものばかりである。力で支配した者は、力がつきた時に生活を絶つたも同じである。死屍に辱しめをうけないためには、自ら潔く死すべきである―。

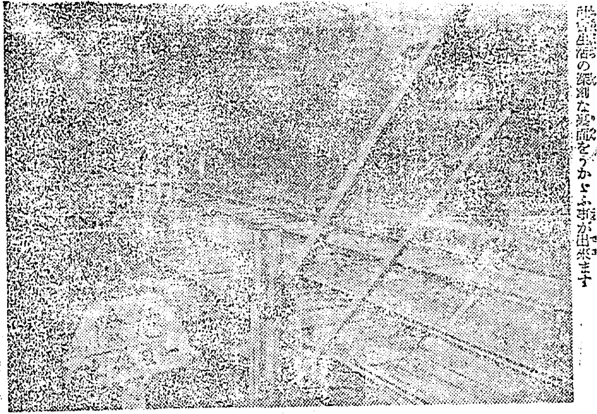
それは、勝頼に武將としての終りを全ふせしめるか否かの重大な分れ道であつた。土屋某の言に最初にうなづいたのは、若い夫人であつた。彼女はあたら十九年の命を、まづ自らの刃に伏した。勝頼も無論それにつゞいた。殺伐な中にも、聰明な女性と相愛の至情とが人の心を打つ物語である。女が道理にうといとは、誰が言つたことであらう。

◇

大善寺の庭は、夢窓國師の築くところだといふ。自然の野水が滅亡の夢を流して閑寂愛すべきものがあつた。晴れた秋の午後、水に浮く雲の影を數へながら、十九歳の領主の妻はどんなにせつぱつまつた思ひでこの庭の朝夕をながめたことであらうと、私はふかい愛憐をもつて其人のことを思ひやつてゐた。

頻發する親子心中
これから特にご警戒

愛のわが子を死の道連れとする親子心中事件は、人の心がやゝもすれば、感傷的になる春から夏へかけて多くなる事は事件の統計の上から見ていなめぬ事實です、かうして親子心中事件が近年いちじるしく多くなつて世間の注意を惹くやうになつたことは複雑化する經濟生活の深刻な裏面をうかゞふ事が出來ます



お天氣の日の夜が一番多い
痛ましい犧牲者の數

縣警察部管下の昨年（十二年）中の親子心中は卅七組で、總人員八十七名を數へました、そのうち親の數が父が七、母は三十一人で、その父母が道づれとした愛兒の數は男兒二十二人女兒二十七人でしたしかし前年（十一年）に比べると四組十二人の減少を示してゐますそれは主として支那事變による

■影響■ が一般を緊張させた事と、戰時經濟による經濟的好景氣をもたらした結果に原因するといひ得るでせう、最近六ヶ年の件數を見ますと、昭和七年卅四組、八年卅五組、九年五〇組、十年四一組、十一年四一組、十二年三七組となつてゐます、昨年の事件を季節別に見ますと夏十三組、春十組、冬八組、秋六組の順になつてゐて、自殺者の多い季節に多くなつてゐます、その日の天候を見ますと晴天の日は廿二組、曇天十一組、雨天四組、總數の六割は天氣のよい日に行はれてゐるのを見ますと、悲觀に陥りやすい雨天に必ずしも心中を決行させるやうな

■精神■ 的影響を來たす直接の影響はないものといへることになります、これをまた時間的に見ますと午後十一時前後がもつとも多く、午前八時から正午までの間は一件もない

原因は
生活の不安
■内縁關係■ 不健康者 です に

その直接原因について見ると、家庭不和十二組、生活苦に陥り……といふのが八組、疾病を苦にしてといふのが七組、一途に感激してと云ふのが五組、變態苦に陥りといふのと發作的精神錯亂が各々二組、自責觀念によりが一組といふことになり、貧困等には殆どが、生活上の不安が心中の

■誘因■ となつてゐる樣である、家庭不和から起るこれらの悲劇は特に一般の注意を喚起する必要があります。これらの死を急ぐ人達の大部分が精神的に、特に肉體的によわいものであるといふことはうなづける事で、健全なる精神は健全なる身體に宿るといふ言葉の通りであるから、かうした悲惨なる事件を根絶する意味においても國民の保健問題、體位向上など

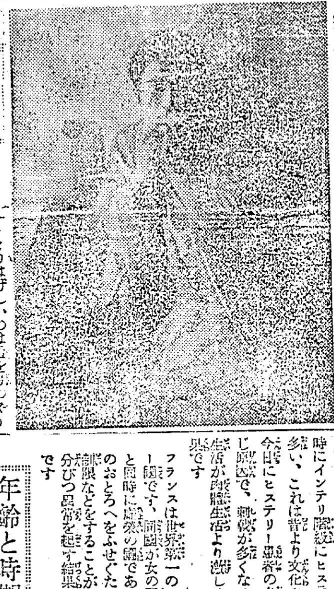
■諸般■ の施設を講じつゝあることはよろこばしい事であります、さらに進んでこの惨事を防止するために官民協力その方策を講ずれば或る程度の効果をもたらし得ることになりませう

春來る

男にも責任がある
女のヒステリー

家内はヒステリーだからなんてヒステリーは女につきものゝやうに簡單に片づけてしまつてはいけない、これには夫の責任が多いのですから、よくヒステリーの性質と原因を知つて協力治療を心掛けねばなりません

だから治療にも協力なさい



症狀

ヒステリーは醫學的說明とは違ふので、卵巢ホルモンの分泌異常から血行障害、ひいては血管のけいれんを起し腦の血行異常を來たすものです、ひどい人は發作が起るとお腹から玉が上つて來て喉を通り咽喉につかへて息がとまりさうになり、痙攣を起して意識もうろうとなりはげしいのは體を弓のやうにそ[illegible]ます

玉が上るやうに感ずるのは卵巢ホルモン等の分泌關係で、腹部の大動脈の末端に痙攣を起し血行が妨げられると同時に流れない血が上の方へだん〳〵溜り、頸動脈を傷はつて咽喉に痙攣をおこし、呼吸がとまり從つて血行不調による腦の變調を來たすわけです、のけぞるのは角弓反張といつて心臟から腰部にかけての大動脈が痙攣を起すために反るのです

フランスは
世界のヒステリー國

原因

素質（神經質）にも勿論よりますが一口にいへば感情生活の過勞が女性をヒステリーにする大きな原因です、この感情生活の過勞の中には性慾の不滿と自尊心及虚榮心の破壊が大きな役割を演じてゐる

性慾の不滿は未婚及離婚による長い獨身生活、夫に對する不滿、三角關係等で、後の方は三角關係または性的の侮辱や身體、經濟生活に對して自尊心及虚榮心を傷つけられた時などをいひます

その他病氣に起因するヒステリーも相當多い、慢性の病氣（例へば肺結核）等で體の衰弱からはあまりヒステリーは來ない、これはホルモンの分泌が少いためであり、逆に榮養をとりすぎて血液やホルモン分泌が過多となる上流階級にヒステリーが多いわけです、同時にインテリ階級にヒステリーが多い、これは昔より文化の進んだ今日にヒステリー患者の多いと同じ原因で、刺戟が多くなつて神經生活が感情生活より激しくなる結果です

フランスは世界第一のヒステリー國です、同國が女の國であると同時に虚榮の國であり、美容のおとろへをふせぐために産兒制限などをすることがホルモン分泌の異常を起す結果となるのです

年齡と時期

處女時代より結婚生活を經た人が感情生活に豐富なためヒステリーを起しやすい、殊に經期、月經閉止期（四十五六歳）がホルモン分泌に變化のある時ですから注意を要します、またこれが治療には感情生活の緩和、虚榮心を廢することが必要です

（醫學博士佐多芳久氏談）

日支アリヤコリヤ物語

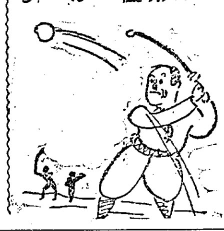
支那料理

田舎から妹も來てますので夫は「支那料理」を御馳走するつて、この前から申してましたの

妹もぞろ〳〵踊る嫂も迎へに來ましたので「いつかの支那料理は」と申しますと俄然夫が怒りますの

「こんな場合、支那料理なんか食へるもんか」

そして夫は晴々とした顔をして愛用ゴルフのクラブなんか買つて來ましたね。うまく約束をごまかしたお祝らしいのよ。



見合決勝戰

茶の間

芝居から歸つて、茶の間で一寸一服したところで、

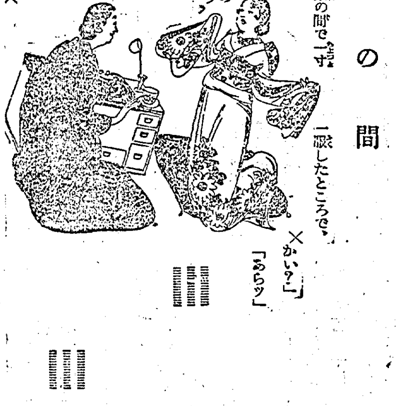
「どうだつたい?」

「えゝ、なかなか面白かつたわ」

「いゝえ、お芝居の話ぢやあないよ あの耿一さんどう思ふ?」

「どうおもふつて」

「あの人のところへお嫁に行く氣はない×



愛國探偵小說

愛慾非常線

寺崎洋々洲作
松村秀彦畫

（[illegible]上段及上段）

…… No. 一三三 ……

捕縛（五）

『遂は山田の奴がどうしても青木さんに對して多少の私怨を晴らさうとして居るのですが、萬一にも不成功になつた時は青木さんに關ゆる物を何にも知らぬ坊ちやんに從つて晴らさうとして居るのです、實に卑劣極まる奴ですがモー大臣の當りが附きましたから御安心遊ばせ、屹度山田は三四日の中に捕縛して參りますから』

『さうか、どうか左樣云ふ事になつて具れゝば可いが、何ならば憲兵隊の聲援を頼まうか』

『そんなものは要りません』

と起ち上つた新納部長は秋谷に向つて

『秋谷さん御足勞でもその突き留めた家の附近まで案内をして具れませんか』

『承知しました、青木君行つて來るよ』

新納部長は一同に向ひ

『夫れでは私も二三日お目に掛らんかも知れませんが後で御用でも部長の許に私が斯う云ふ處へ張り込んで居ると云ふことだけを知らせて遣つて下さいまし』

『宜しい、夫れは僕から知らせやう、向ふの所を良く知つて居るんだから』

秋谷は暫く受合つた後二人連れ立つて家を出で彼の思惑等の入つた路地の入口にたゝづみ

『新納さん此の中の左側で一番奥の家ですよ奴等のは入つたのは』

『さうですか……』

新納は暫らく考へて居たが

『宜しッ……』

と何か決心したらしく

『夫では貴方は歸つて下さい』

別れを告げられた、秋谷は大なる興味を持つて暗い所から新納の樣子を窺つて見て居ると、彼は取り付けの家に入つたかと思ふと其の家の主人と何か低聲で問答を初めた。夫れも程なく終つたので、秋谷はどうしたのかと燈火の洩るゝ戶の隙から家の樣子を覗くと、最早新納の姿は無くして此の家の主人に女房を相手にマッチの箱の手内職に忙しい樣である。

心付いて見ると臺所の上げ板が二枚外れて居る。秋谷は口に出さねど

『ハア……彼所から忍び込んだな』

と頷くと共に青木方へ急いで歸つた。

新納部長の樣子を見届けた、秋谷は、青木の家に戾るや直に水島少將や、青木大尉と相談して直に委細を麹町署へ電話で報告した。

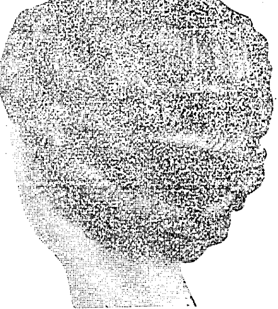
『兎に角新聞とは云ひ乍ら、目込は立派に付けたものだね』

秋谷は殊更に感心して居る。

『全然彼の刑事の遣り口に勝つて仕舞つたと見えるな、然し中々熱心な男らしいから今度こそは成功するだらうと思ふよ』

と水島少將も新納部長を非常に信頼して居るのである。然るに此方の新納部長は潔くにして縁の下へ潜り込みはしたが、其處の自分の入つて來た家と彼等の間に聯絡でも取つて居られては一大事と心附いたが、最早どうする事も出來ないのでマヽヨと隣家不敬にも盗に縁側遣の家を借りて居る縁下へ辿り附き耳を立てゝ彼等の談話を偸聽して居るのである。

御得意樣への御禮に!
パーマネントウエーブは……
今や世界的流行であります……
▲▲時間の經濟と能率增進
▲▲時代の要求するパーマネント
▲▲今が絕好のチヤンス
現狀維持では……
時代に取殘されませう
銃後を守る御婦人方への大サービスに
最新の美容法を研究しその奥義を修得致して參りました
御婚禮御氣付
和洋結髮
オゾン美顔術
美爪術
白赤毛染
お値段―四圓全部、三圓普通、
水野化粧院
水野冬子
平市驛前電六七八番 自宅電五二五番



（セツトの技巧）

三井タクシー
平二 電話六八五番

國旗と提灯
スタケヤ

若き日の思ひ出に
是非!!! 記念撮影を!
皆様の御進級と御卒業をお喜び申上げ破格の割引致します。何卒御來館下さい。
小型六枚 ―五十錢―
◎晝夜間撮影
宮田寫眞館
平市鍛冶町 電話二四六番(呼)

喜多流謠曲と仕舞の
お稽古をお奨め致します
入會隨時 平市田町六九
喜多流 謠曲 仕舞 白土會
電話二一七番

◎評判の美味しい
"みつ豆"始めました
蜂蜜入フルーツ みつ豆
東京風アン みつ豆
電話二八 福壽軒

一齒科一般 保存科補綴科 齒列矯正科 小兒齒科 齒槽膿漏科
一口腔外科 一レントゲン科
中野齒科醫院
院長 日本齒科醫學士 中野憲次
日本齒科醫學士 西川誠
平市田町（松月堂向ヒ） 電話五〇九番

近眼! 老眼! 亂視眼!!!用
メガネ澤山取揃へて御座います
是非!!一度! 御來店下さい
正確ト勉強ノ店
玉屋メガネ店
平市二丁目

外科 内科 一般
金成醫院
金成忠義
平市鎌田町 電話五三八番

春物は
是非!
當店から
（在庫豐富）

玉屋洋品店
平 田町通電話六五六番

▽是非!
御融通には御用命下さい萬事便利な御相談に應じます
公債、債券、質物一般
三井質店
平四 電話六〇六番

專門 花柳病科 婦人科 産科
▽入院隨意
井坂醫院
平市田町 電話五五九番

家具御製作
橋本屋木工場
平市新川町（電一六三番）
◎見習徒弟入用優遇す給料面談

外科内臓外科 X光線科 院長 安齋徹
―新設―
産婦人科 醫學士 黑澤廣
▽入院隨意△
平市田町
安齋醫院
電話四七五番

國債一枚
銃後の護り
一ケ月二圓六十五錢の掛金が三年目に百圓の國債となる
國債無盡は此度の支那事變の國債を無盡の方法に依り一枚でも多く國民の手に、行きわたらせると共に銃後の國民として『消費節約、勤儉貯蓄』といふ國策に順應すべく、無盡報國の一端として全國の無盡會社が犧牲を忍び、奉仕的に實施しました國債を給付する無盡であります。
福島縣平市大町二十番地
磐城無盡株式會社
電話三七八、七一七番
振替口座仙臺一七〇〇番（電略ム）

高久病院
院長 醫學士 高久忠
副院長 新潟醫學士 赤羽清
藥局長 藥劑師 佐竹菊雄
內科小兒科 耳鼻咽喉科 外科花柳病科。
平市田町 電話五一三番
◎看護婦至急募集―

耳鼻 咽喉 科專門
大和田醫院
平市南町一六（電話一七〇番）